

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は105.4となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

内訳を見ると、野菜・海藻が7.2%、魚介類が2.7%、酒類が1.4%の下落となった。

一方、乳卵類が4.1%、果物が2.8%、菓子類が2.0%、飲料が1.3%、調理食品が1.2%、穀類、油脂・調味料及び外食が1.1%、肉類が0.7%の上昇となった。

生鮮食品について見ると、生鮮果物が2.5%の上昇となったが、生鮮魚介が6.1%、生鮮野菜が12.9%下落したことから、生鮮食品全体では7.1%の下落となった。

図7 食料指数の月別の動き

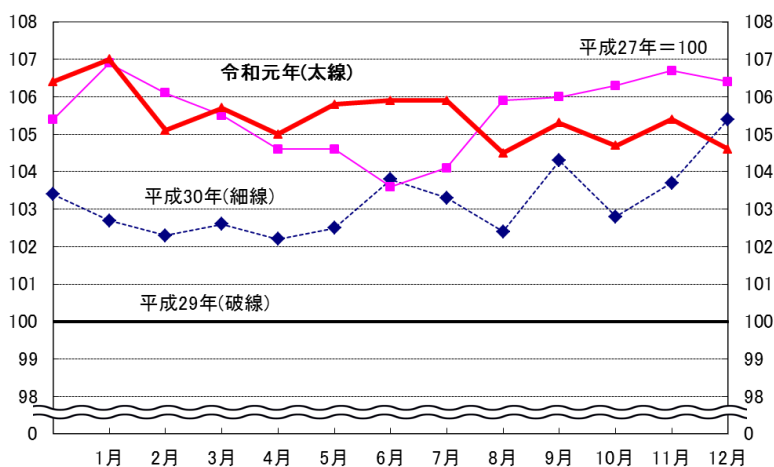


図8 生鮮食品指数の月別の動き

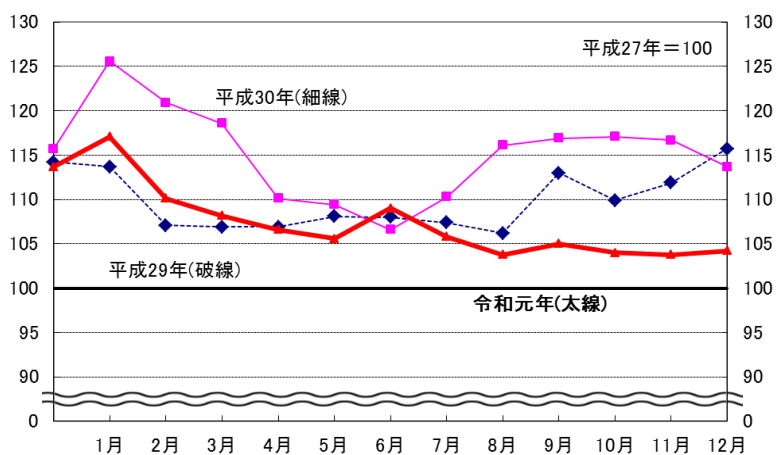


表4 食料の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
食料	2.0	2.3	-0.1
穀類	1.0	3.5	1.1
魚介類	11.3	7.7	-2.7
肉類	0.9	-0.4	0.7
乳卵類	-0.1	3.1	4.1
野菜・海藻	3.9	7.1	-7.2
果物	0.7	1.5	2.8
油脂・調味料	0.9	3.1	1.1
菓子類	0.5	0.4	2.0
調理食品	-1.3	0.8	1.2
飲料	1.6	-0.1	1.3
酒類	7.2	0.3	-1.4
外食	-0.5	0.1	1.1
生鮮食品	6.0	5.1	-7.1
生鮮魚介	13.0	6.7	-6.1
生鮮野菜	3.2	5.3	-12.9
生鮮果物	0.8	1.9	2.5

図9 生鮮魚介指数の月別の動き

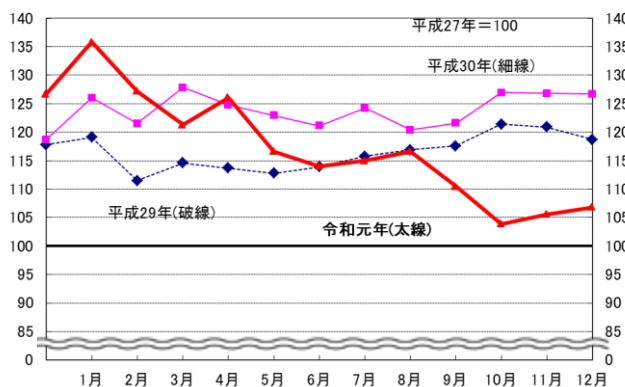


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

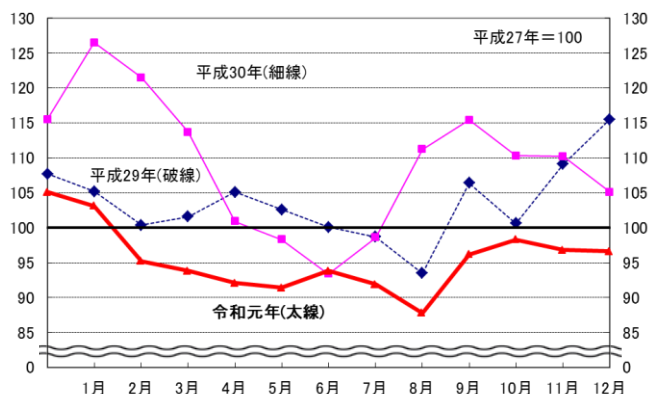
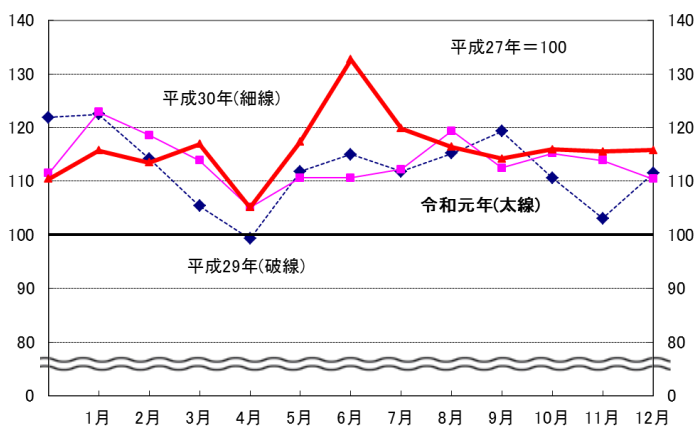


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は97.2となり、前年に比べ1.4%の下落となった。

内訳を見ると、家賃が1.8%の下落となった。

一方、設備修繕・維持が0.4%の上昇となった。

なお、持家の帰属家賃を除く家賃は0.9%の下落となった。

図12 住居指数の月別の動き

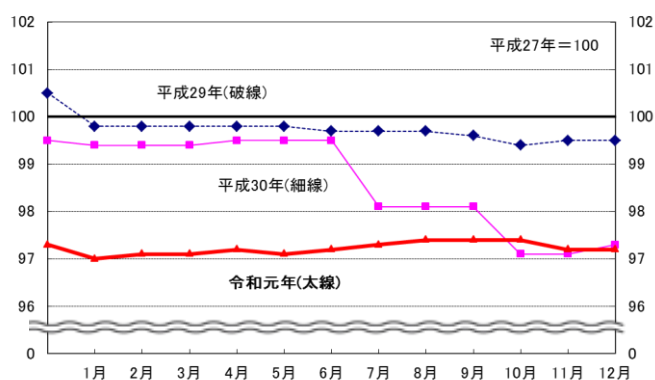


表5 住居の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
住居	-0.9	-1.1	-1.4
家賃	-0.8	-1.3	-1.8
設備修繕・維持	-1.4	-0.3	0.4
持家の帰属家賃を除く住居	-1.1	-0.6	-0.1
持家の帰属家賃を除く家賃	-0.6	-0.9	-0.9

2-3 光熱・水道

光熱・水道は98.9となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。

内訳を見ると、ガス代が2.0%、電気代が0.6%、上下水道料が0.3%の上昇となった。

一方、他の光熱が0.6%の下落となった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

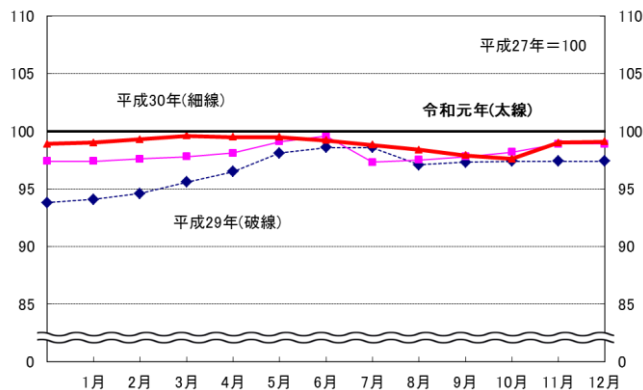


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
光熱・水道	2.4	1.3	0.7
電気代	2.4	0.4	0.6
ガス代	0.3	2.4	2.0
他の光熱	26.7	16.1	-0.6
上下水道料	0.0	0.0	0.3

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は100.3となり、前年に比べ2.0%の上昇となった。

内訳を見ると、家庭用耐久財が5.0%、家事用消耗品が3.4%、寝具類が1.1%、家事サービスが0.5%、家事雑貨が0.2%の上昇となった。

一方、室内装備品が5.4%の下落となった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

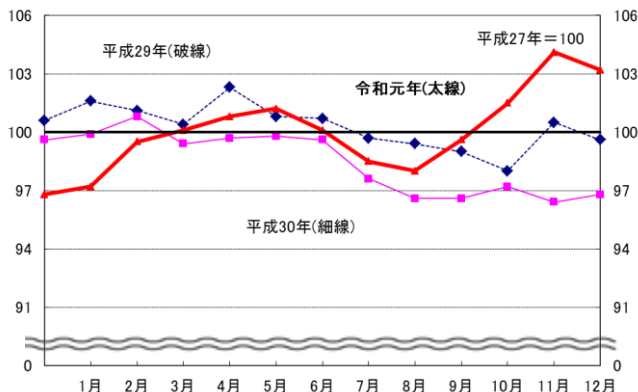


表7 家事・家具用品の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
家具・家事用品	-0.4	-1.9	2.0
家庭用耐久財	-10.4	-5.1	5.0
室内装備品	-17.7	-5.0	-5.4
寝具類	13.4	2.3	1.1
家事雑貨	-0.6	-2.0	0.2
家事用消耗品	0.9	-2.4	3.4
家事サービス	7.2	0.0	0.5

2-5 被服及び履物

被服及び履物は101.8となり、前年に比べ0.2%の下落となった。

内訳を見ると、衣料が3.1%、他の被服類が2.9%の下落となった。

一方、シャツ・セーター・下着類が4.2%、履物類が1.1%、被服関連サービスが0.5%の上昇となった。

なお、衣料のうちでは和服が5.4%の上昇、洋服が3.6%の下落、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類が4.3%、下着類が4.0%の上昇となった。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

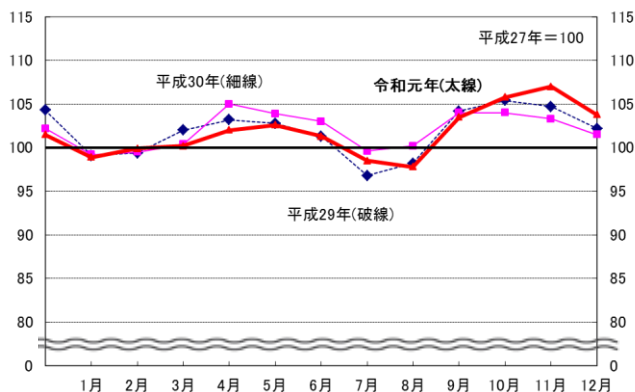


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
被服及び履物	-1.9	0.4	-0.2
衣料	-0.9	3.4	-3.1
和服	-0.3	-4.4	5.4
洋服	-1.0	3.9	-3.6
シャツ・セーター・下着類	-3.3	-4.9	4.2
シャツ・セーター類	-4.5	-5.3	4.3
下着類	-0.3	-3.9	4.0
履物類	-3.2	1.3	1.1
他の被服類	-0.9	1.2	-2.9
被服関連サービス	0.6	2.5	0.5

2-6 保健医療

保健医療は104.1となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。

内訳を見ると、保健医療サービスが1.1%の上昇となった。

一方、医薬品・健康保持用摂取品が0.7%、保健医療用品・器具が0.6%の下落となった。

図16 保健医療指数の月別の動き

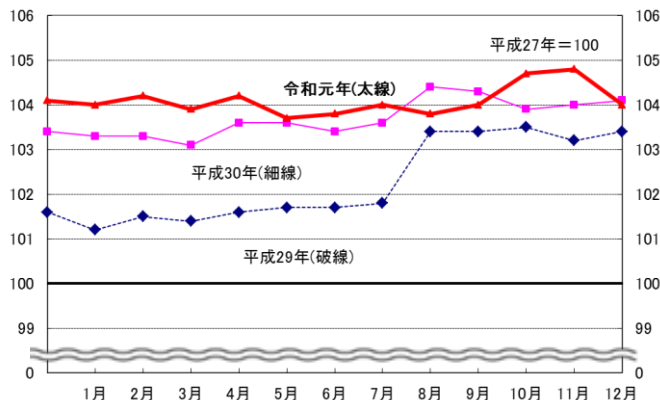


表9 保健医療の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
保健医療	1.0	1.4	0.4
医薬品・健康保持用摂取品	-0.4	-0.6	-0.7
保健医療用品・器具	1.0	-0.8	-0.6
保健医療サービス	1.6	2.9	1.1

2-7 交通・通信

交通・通信は98.7となり、前年に比べ0.8%の下落となった。

内訳を見ると、携帯電話機の通信料の値下げなどにより通信が3.2%、原油価格の下落に伴うガソリン価格の値下がりなどにより自動車等関係費が0.3%の下落となった。

一方、交通は0.6%の上昇となった。

図17 交通・通信指数の月別の動き

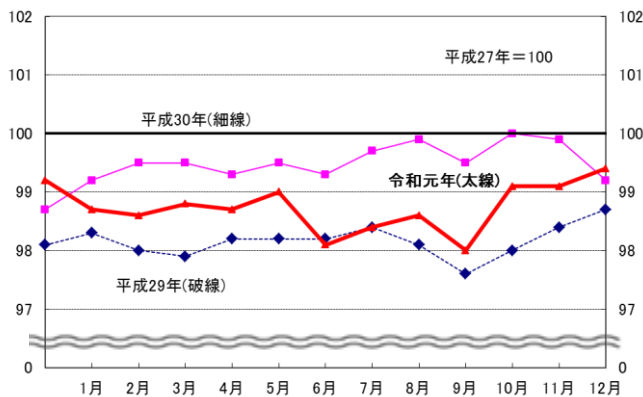


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
交通・通信	0.3	1.4	-0.8
交通	-0.2	0.2	0.6
自動車等関係費	2.2	2.8	-0.3
通信	-4.0	-1.7	-3.2

2-8 教育

教育は104.8となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。

内訳を見ると、補習教育が2.6%、教科書・学習参考教材が0.3%の上昇となった。

一方、10月から実施された幼児教育の無償化に伴い、公立幼稚園保育料が25.3%、私立幼稚園保育料が23.9%下落したことから授業料等が0.8%の下落となった。

図18 教育指数の月別の動き

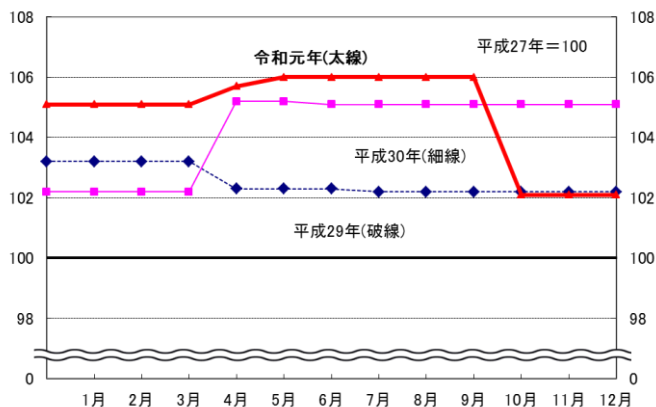


表11 教育の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
教育	-0.2	1.9	0.4
授業料等	1.8	0.7	-0.8
教科書・学習参考教材	0.6	0.1	0.3
補習教育	-4.3	4.4	2.6
公立幼稚園保育料	0.0	-1.3	-25.3
私立幼稚園保育料	0.4	-1.2	-23.9

2-9 教養娯楽

教養娯楽は102.5となり、1.2%の上昇となった。

内訳を見ると、書籍・他の印刷物が3.4%、教養娯楽サービスが1.2%、教養娯楽用品が0.2%の上昇となった。

一方、教養娯楽用耐久財が0.7%の下落となった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

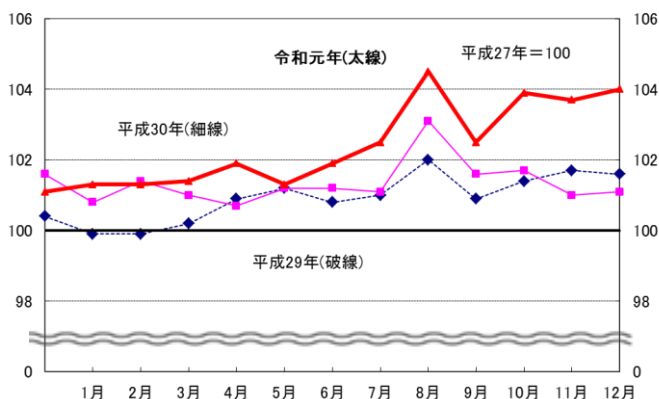


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
教養娯楽	0.1	0.3	1.2
教養娯楽用耐久財	-5.6	2.3	-0.7
教養娯楽用品	0.1	-0.7	0.2
書籍・他の印刷物	0.4	1.1	3.4
教養娯楽サービス	0.7	0.4	1.2

2-10 諸雑費

諸雑費は101.5となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。

内訳を見ると、身の回り用品が6.8%、たばこが6.4%、理美容サービスが0.7%の上昇となった。

一方、10月から実施された幼児保育の無償化に伴い、保育所保育料が13.7%下落したことから他の諸雑費が1.8%、理美容用品が1.4%の下落となった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

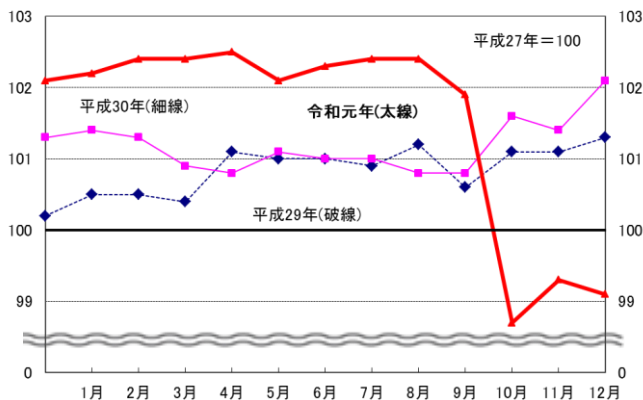


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

項目	29年	30年	元年
諸雑費	0.4	0.3	0.3
理美容サービス	0.0	0.0	0.7
理美容用品	-0.3	0.3	-1.4
身の回り用品	0.5	-1.8	6.8
たばこ	1.0	3.0	6.4
他の諸雑費	0.9	0.6	-1.8
保育所保育料	0.0	0.0	-13.7